

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社インソース横浜支社

25-22-12-094-038

A. バックオフィス	094 AI(人工知能)活用
新技術活用	

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
	1	■AI(人工知能)の概要	(1)AIの活用事例 1. AI(人工知能)について 【演習】身の回りのAIについて挙げてみる 2. AIの活用事例の整理と紹介 (2)AIの基本知識 1. AIの歴史・背景 【グループ演習】AIを用いた自動販売機を考える 2. AIの現状と今後の展望 【グループ演習】AIの導入に伴い増える業務について考える 【参考】AIの普及による働き方・生活への影響 (3)AIの仕組み 1. AIで使われるデータ 2. 機械学習の仕組み 3. AIの応用技術 【グループ演習】購買傾向を把握できるデータを考える 【グループ演習】予測システムに必要なデータや分析手法を考える	1.0 1.0 1.0	令和7年 10月2日(木)	9:30～16:30 【昼休憩】 11:45～12:45
2	■AIの活用事例 と今後の展望	(1)対話型AIとは 1. 対話型AIが与える影響～ホワイトカラーの危機 2. 止まらない進化 3. ChatGPTとの会話で新しいアイデアを生み出す 【個人演習】社外の課長へ送る、丁寧で失礼のないメールの文章を考えてもらう (2)欲しい回答を引き出す質問の仕方(プロンプトテクニック) (1)ChatGPTを使いこなす質問の手順 (2)対話を通して回答を得る (3)「魔法の呪文」とフォーマットで効率よく回答を引き出す 【グループ演習】キャッチコピー作成のためのアイデアを出す (3)全体のまとめ 【グループ演習】本日学んだことを活かして、自身の業務を1つ取り上げ、生産性を向上させる方法をChatGPTに聞く	1.0 1.5 0.5			
合計時間			6.0			

カリキュラム作成のポイント
この研修では、AIの基本知識や活用事例を学び、業務への応用イメージを深めます。対話型AIの影響や活用法を理解し、実践的な演習を通じて使いこなすスキルを養います。 特に、適切な質問の仕方を学ぶことで、ChatGPTなどのAIから効果的な回答を引き出す力を身につけます。 最後に、学びを振り返り、自身の業務に活かせる具体的な活用方法を検討します。